無限 MUGEN

45022-XK5 -K000　SPORTS PAD SET Type SPORTS
45022-XK5 -K100　SPORTS PAD SET Type COMPETITION

for HONDA　INTEGRA Type R

取　扱　説　明　書

当製品をご使用される皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用される前に必ず本文を読み、注意点等十分ご理解の上ご使用下さい。

⚠ 注　　意

●当製品には、ウェアインジケータ（ブレーキパッド残量警告装置）が装着されておりません。
定期的にパッドの残量、その他異常がないか点検して下さい。
万一異常が認められた場合は、大変危険ですのでご使用を中止して下さい。
※残量が２㎜以下になったら必ず交換して下さい。

●摩耗限度を超えたブレーキパッドは本来の制動力を発揮できない恐れがあるばかりでなく、ブレーキローターを傷めたり、事故等を引き起こす可能性があり、きわめて危険ですので絶対に使用しないで下さい。

●交換直後は、パッドとローターに「馴染み」が出ていないため、一般的に若干制動力が低下します。「馴染み」が出るまでは十分な制動距離を確保して下さい。

●サーキットにおける使用に際し、本来の性能を発揮するためには、パッド装着後十分な制動距離を確保した上で、数回のハードブレーキングを行い、パッドの焼き入れ（パッド内部のガス抜き）をしてください。

●当製品は、一般的なノーマルパッドとは異なり、制動性能重視のため、ブレーキノイズ・ダスト・摩耗の性能に関して劣る場合があります。

●ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は認証工場で行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒３５１－８５８６　埼玉県朝霞市膝折町２－１５－１１
株式会社　Ｍ－ＴＥＣ　商品事業部　商品課　国内営業ブロック
【営業時間　9:00～18:00】
TEL. ０４８－４６２－３１３５　FAX. ０４８－４６２－３１２１

当製品の特性

○純正品に対しローターやパッドの表面温度が上昇した時でも、制動力が安定しています。
○高温下での耐摩耗特性が優れています。
●純正品と比較して、ローターへの攻撃性が高いため、ローターの摩耗にご注意ください。
●ストリート走行時、キーキー音やゴーゴー音が出ることがあります。
●パッド摩耗粉が多いため、ホイールの掃除をこまめに行って下さい。

無限 MUGEN

45022-XK5 -K000 SPORTS PAD SET Type SPORTS
45022-XK5 -K100 SPORTS PAD SET Type COMPETITION

for HONDA INTEGRA Type R

取 付 説 明 書

当製品の組込み作業を行う皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読みご理解の上、正しくお取り付け下さい。
取り付け後は、本書と取扱説明書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1．開梱後は、ただちに部品類の不足や破損のない事を確認して下さい。

2．取り付け前に型式の確認を行って下さい。当製品は、各車種ごとに専用設計をしておりますので、適応車種以外への取り付けは行わないで下さい。
［適応車種］ INTEGRA TypeR DC5

3．ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は陸運局認定の整備工場で行って下さい。交換に伴う不具合により生じた事故等につきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

4．純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒３５１－８５８６ 埼玉県朝霞市膝折町２－１５－１１
株式会社 Ｍ－ＴＥＣ 商品事業部 商品課 国内営業ブロック
【営業時間 9:00～18:00】
TEL. ０４８－４６２－３１３５ FAX. ０４８－４６２－３１２１

⚠ 警 告

●走行直後に交換作業を行うと、ローターやパッドが非常に高温になっており大変危険です。交換作業は必ず十分冷えてから行って下さい。

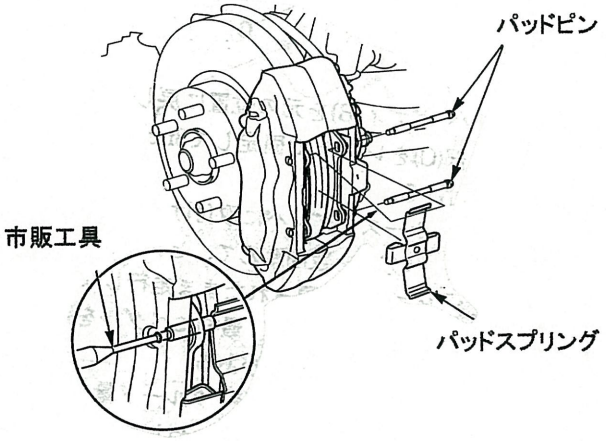
●パッドの摩擦材にはあらゆるファイバー（繊維質）が含まれており、これらの粒子が手に刺さる恐れがあります。交換作業の際は、必ず軍手等の手袋をご使用下さい。
また、パッドからの研磨粉・摩耗粉の飛散により、体内への侵入が考えられますので、十分な注意が必要です。

●パッドの装着に際しては、サービスマニュアルに従ってディスクローターに異常摩耗、段減り、クラック、振れ等がないかを十分点検して下さい。

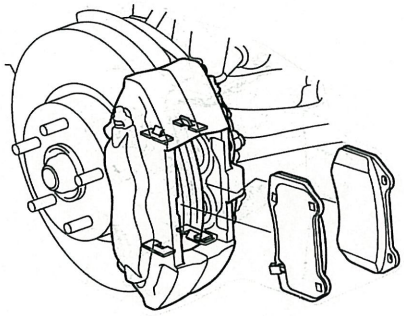
フロントブレーキパッドの交換

注意 ・ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。
・タイヤを取り外す際、アルミホイールでブレーキキャリパ表面に損傷を与えないように注意すること。
・ブレーキキャリパはアルミ製である。傷が付きやすいので作業には注意すること。

①上下のパッドピンを市販工具で軽く打ち抜き、パッドスプリングを押しながらパッドピンを取り外す。



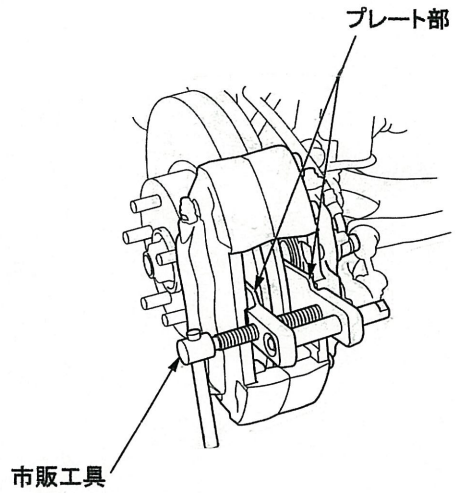
②パッドスプリングを取り外す。
③キャリパからパッドを取り外す。



④キャリパボディ内面を清掃する。

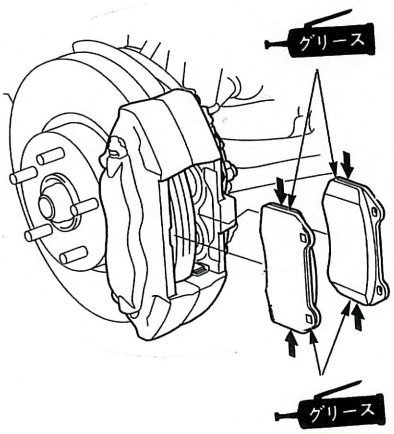
⑤市販工具（ブレーキキャリパレンチ）を使用して、アウタ側とインナ側のピストンを静かに押し込む。

注意 ・市販工具のプレート部をアウタ側ピストン2個とインナ側ピストン2個に均一にかかるようセットする。
・ピストンを押し込むと、マスタシリンダのリザーブタンクからフルードがあふれる場合がある。フルードの量を確認しながらピストンを押し込むこと。



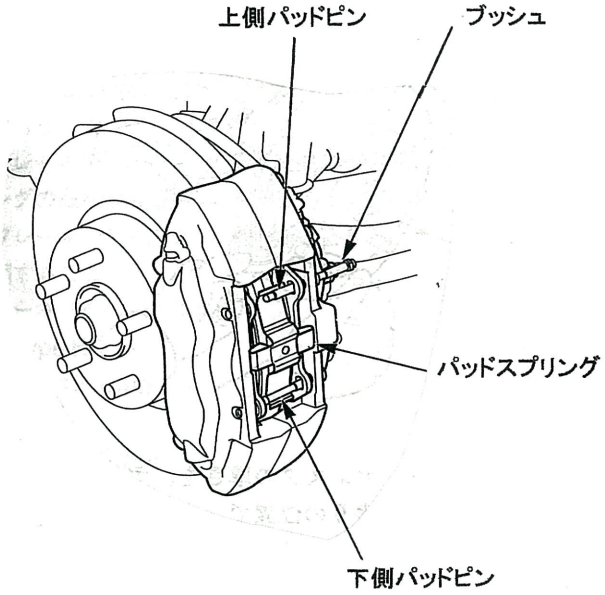
⑥無限パッドにモリコート7439を塗布し、キャリパに取り付ける。

注意 ブレーキディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。



⑦下側のパッドピンをキャリパのインナ側からパッドのプレート穴を通して、アウタ側へ差し込む。
⑧パッドスプリング下側をパッドピンに引っ掛けて取り付け、パッドを押さえる。
⑨パッドスプリング上側を押しながら、上側のパッドピンをキャリパのインナ側からパッドのプレート穴を通して、アウタ側へ差し込む。

注意 **パッドピンのブッシュがキャリパボディにはめ込めるまで確実に押し込むこと。不確実な取付は、走行時にパッドピンが外れてパッド脱落の恐れがある。**



⑩ブレーキ ペダルを数回踏んで、ピストンを押し出す。

注意 **ピストンが戻されたまま走行しないこと。ピストンの戻りが大きいと、最初にペダルを踏んだ時にブレーキが効かないことがある。**

⑪マスタ シリンダ リザーバタンクのブレーキフルード量を点検する。

⑫取り付け後、ブレーキ ホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないか点検する。

【構成部品】